

市長との約束 2021



私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

建設部長

茂泉 善明

約束内容	道路網等の整備と老朽化対策の推進 身近にふれあえる憩いの場の整備
達成目標	①安全で円滑な通行を確保するため、繰り越し事業を含めた市道18路線の市道整備及び37路線の舗装修繕を進めます。また、老朽化する橋梁を適正に維持するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、12橋の橋梁修繕を進め、安全な道路環境の整備に努めます。 ②公園遊具等の点検結果を踏まえ3公園の更新を進め、市民の憩いの場である公園の維持管理を図ります。
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	①市道整備並びに橋梁長寿命化については、一部で繰り越しをしてしまったが、舗装修繕工事については、年度内で完成し、概ね予定どおりの成果となった。 ②遊具の一部並びに9月補正で予算化された三本木パークゴルフ場改善工事とトイレ洋式化の一部については、繰り越しとなった。
今後の課題 解決策	①市道整備事業については、用地交渉等を丁寧に進め、全体のスケジュール管理を徹底する必要がある。 ②パークゴルフ場改善工事については、指定管理者も含めた定例打ち合わせを行いながら、利用者に喜ばれる施設とする。

約束内容	まちづくり事業の推進
達成目標	①豊かな自然景観、農村景観などの地域資源を保全し、調和した良好な都市景観を形成するための景観条例が10月に施行されることから、届け出制度の運用や条例の周知を行い、景観に対する意識の醸成を図ります。 ②大崎市中心市街地復興まちづくり計画に基づき、利便性の高い都市への再生を目指し、市役所周辺の土地区画整理事業を推進するとともに、七日町西地区の再開発事業が今年度末までに工事完了するよう引き続き技術的支援を行います。 ③今後の都市計画の基本的方針となる都市計画マスタープラン並びに立地適正化計画について、関連計画との整合を図りながら、年度内に見直しを行います。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	①10月1日から始まった届け出制度については、電子申請システムを活用し、運用をスタートさせることができた。 ②今年度予定した区画道路、本庁舎建設工事については、予定どおりの進捗状況となっている。また、七日町西地区の再開発事業についても年度内完成する見込みとなっている。 ③都市計画マスタープランについては、2月議会で承認いただいた。立地適正化計画については、災害レッドゾーンを除外する計画変更が10月までに変更できた。
今後の課題 解決策	①住民へのさらなる周知と意識の醸成を図るため、シンポジウムの実施を検討していく。また、景観形成重点地区の指定に向け、地域の意見を集約していく必要がある。 ②本庁舎の令和4年11月完成、令和5年5月開庁に向け、関係する事業の調整を図っていく。再開発事業については、令和4年度解散手続きに向け引き続き支援し事業完了を目指す。 ③今後、関係部署と連携し、防災指針の策定を進める。

約束手内容	公営住宅の整備，建築物の耐震改修の促進による安全安心な住環境づくりの推進
達成目標	<p>①住宅困窮者が安全に快適に生活できる環境を整えるため，公営住宅等長寿命化計画に基づき，内ノ浦住宅の年度内完成を目指します。また，岩出山上川原住宅については，令和8年度の完成を目指します。</p> <p>②地震による建築物の倒壊等の被害から市民の生命，身体及び財産を保護するため，建築物の地震に対する安全性の向上を図り，公共の福祉の確保に努めます。</p> <p>③令和元年東日本台風による被災者の意向を確認しながら，住宅再建のための事業を推進します。</p>
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	<p>①内ノ浦住宅については，入札不調が重なり，令和4年10月頃の完成となる見込みとなった。また，上川原住宅の造成設計についても，着手時期が遅れ繰り越しとなる。</p> <p>②改修工事助成，ブロック塀除却助成等については，概ね予定どおりの件数を補助することができた。</p> <p>③入札不調等により着手時期が遅れてしまったが，希望者に対して3月中に造成地の販売・災害公営住宅の入居をすることができた。</p>
今後の課題 解決策	<p>①次年度建築設計をするにあたり，住宅の構造や規模等を早期に決定する必要がある。</p> <p>②ブロック塀除却助成については，危険度の高いブロックの除却が加速されるよう，制度の見直しを行う。</p>
約束手内容	冠水対策事業の推進
達成目標	<p>①各地域の未整備水路28路線や常習冠水地区の排水路整備15路線を，年次計画に基づき年度内に整備し，衛生的な生活環境の改善と浸水被害の軽減を図ります。</p> <p>②国・県等関係者との連携による水害に強いまちづくりを検討し，年度内に長期的・抜本的な対策について提言書を取りまとめます。</p>
達成度	B 達成目標を下回る（50%～80%） ★★☆☆
達成状況	<p>①緊急浚渫事業債を活用した浚渫については予定どおり実施できたが，排水路整備事業については，入札不調等により，多くの路線が繰り越しとなってしまった。</p> <p>②北上川下流河川事務所との共催による「吉田川流域治水シンポジウム」については開催できたが，コロナ禍により専門家会議やワークショップについては開催できなかった。</p>
今後の課題 解決策	<p>①排水路整備工事については，早期発注に努めるとともに，入札不調・中止となる案件が多いことから，引き続き発注方法の工夫が必要となる。</p> <p>②繰り越しとなってしまいが，引き続き開催のタイミングを見計らいながら，関係機関と連携して，国・県へ提言できるよう内容を取りまとめていく。</p>